

水稻生育診断速報

2026
No.2

令和8(2026)年6月12日
農政部経営技術課技術指導班

☆☆☆ 生育概況（6月8日調査）と今後の対応☆☆☆
コシヒカリ、とちぎの星とも、葉齢から見た生育は、平年に比べ3日程度進んでいます。気温から見た県央のコシヒカリ（5月4日移植を基準）は、7月21～26日に収穫になると予測されます。

また、高温の影響により急激に茎数が増加していることから、目標茎数の8割（県北：300本/m²、県南：350本/m²）が確保されたら、速やかに間断かん水を開始しましょう。

- <早植コシヒカリ> 8地点平均
草丈：平年と比較して長い（平年比（以下同）106%）
茎数：平年と比較して多い（110%）
葉齢：平年より0.5（3日程度）進んでいる
葉色（葉緑素計）：平年並
- <早植とちぎの星> 4地点平均
草丈：平年並（100%）
茎数：平年と比較して多い（119%）
葉齢：平年より0.5（3日程度）進んでいる
葉色（葉緑素計）：平年と比較してやや濃い

○気象概況（気象庁）

5月下旬は、21日から22日にかけて雨となり、その後晴れましたが湿った空気の影響で曇りや雨となったところがありました。宇都宮の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は少なくなりました。

○生育調査結果

【早植コシヒカリ】県内8地点
移植後の気温が平年より高く経過したため、平年に比べ草丈は長く、急激に分げつが進んでいることから茎数は多くなっています。また、葉齢から見た生育も平年に比べ3日程度進んでいます。葉色（葉緑素計（SPAD））は平年並となっています。

宇都宮地方気象台のデータを使用し出穂予測をした結果、6月9日現在、**県央では7月21日（今後平年+2℃で推移）～26日（今後平年-2℃で推移）に出穂すると考えられます（図1）。**

草丈は、那須町、農研センターは平年より短く（平年比（以下同）93～94%）、その他の地点では長く（104～131%）、県内平均は長くなりました（106%）。茎数は、那須町、日光市、農研センターが少なく（90～98%）、その他の地点は高温により分げつが進んだことで平年並～多く（110～143%）、県内平均は多くなりました（110%）。葉齢は、那須町で遅れていますが（平年差-0.6）、その他の地点では平年並～進んでおり県内平均では0.5進んでいます。葉色（SPAD）は那須町、農研センターで平年より淡くなりましたが（-2.3、-4.5）、その他の地点では平年並～濃く（+0.1～3.5）、全体的にはほぼ平年並となりました。葉色板による葉色は、宇都宮、農研センターで平年よりやや淡く（-0.2、-0.3）になりましたが、全体ではやや濃い傾向（+0.2）となりました。

【早植とちぎの星】県内4地点

とちぎの星もコシヒカリと同様に高温の影響で茎数が増加しています。また、葉齢から見た生育も平年に比べ3日程度進んでいます。その他の項目は、草丈は、平年並、葉色（葉緑素計（SPAD））は濃くなっています。

草丈は、さくら市で短く（88%）、その他の地点は平年並～長く（101～106%）、県内平均は平年並となりました。茎数は、農業総合研究センターで少なく（91%）、その他の地点では多く（114～156%）、県内平均は多くなりました（119%）。葉齢は、平年並～進んでおり、県内平均では0.5進んでいます。葉色（SPAD）は、農研センターで淡く（平年差-3.9）、その他の地点では濃く（+1.6～3.0）、県内平均で濃くなりました（+0.8）。葉色板も農研センターで淡く（-0.2）、その他の地点では濃く（+0.1～+0.5）、県内平均で濃くなりました。

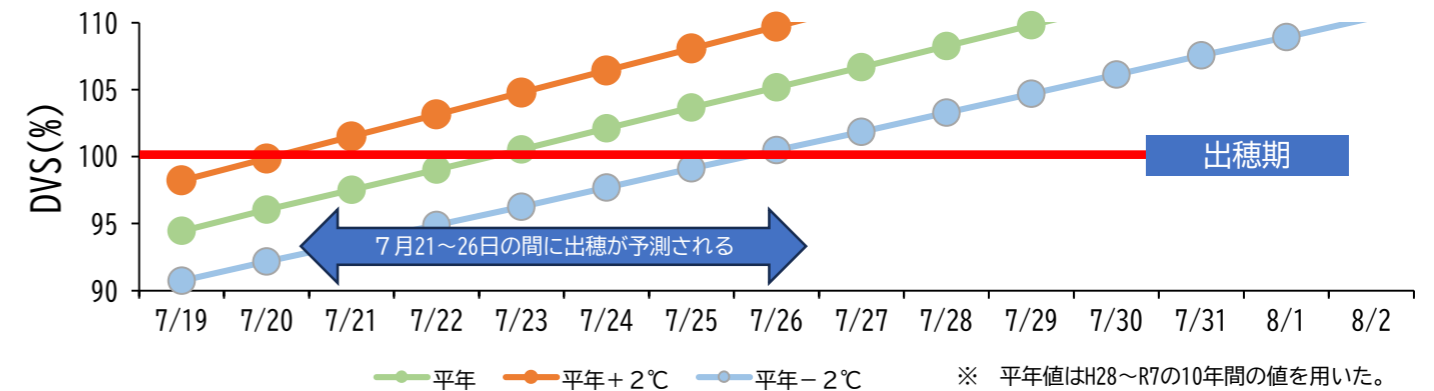


図1 DVRによる出穂期予測（2026年6月9日予測、5月4日移植基準）

○農研センター地温の推移

今年の農業総合研究センター水田の地温は、5月第5半旬が前年より低く推移しましたが、5月第6半旬～6月第1半旬が前年より高く経過しました（図2）。期間を通しての平均地温も、前年より高温に経過していることから基肥一発肥料の溶出は前年より進んでいるものと思われます。出穂前の葉色に応じて追肥を検討しましょう。

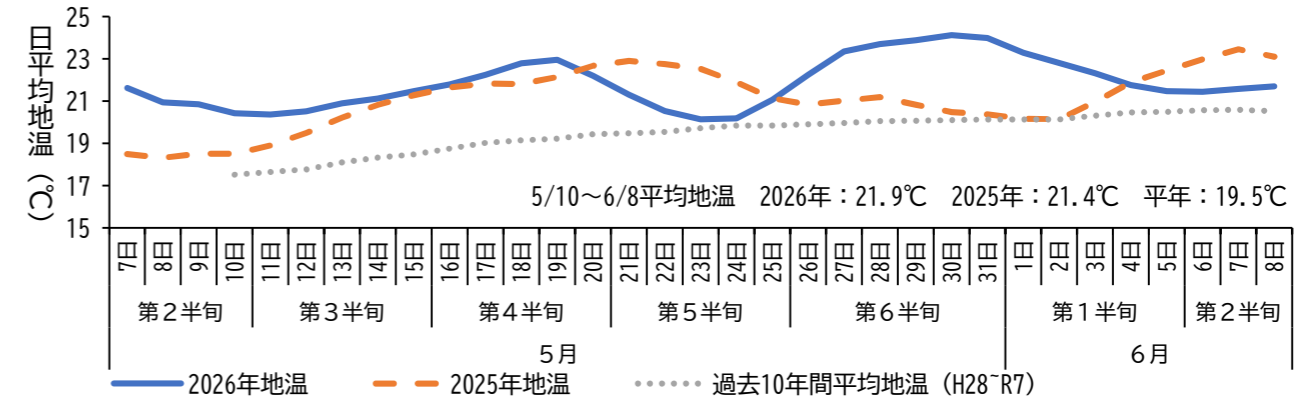


図2 農業総合研究センター生育診断ほにおける地温の推移

気象庁 関東甲信地方1か月予報（6月4日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/06～07/05	20 30 50
		1週目 06/06～06/12	30 50 20
		2週目 06/13～06/19	20 40 40
		3～4週目 06/20～07/03	10 30 60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/06～07/05	20 40 40
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 06/06～07/05	40 40 20

□■□ 今後の技術対策 □■□

(1) 水管理

今年は、5月中、下旬の気温が平年より高く茎数が一気に増加しました。5月の連休に植えたほ場では、必要茎数（コシヒカリで350本～400本/m²）が確保されているほ場が多いと考えられます。コシヒカリについて、農研センターで調査した葉面積、乾物重から見ると稲体が軟弱であると考えられることから、間断かん水を実施していないほ場では開始し、無効茎を整理し稲体の充実を図ってください。分けつが過剰になると、無効茎が増化し、茎が細くなり倒伏の原因になります。また、籾数過剰になると高温の影響により品質が低下しやすくなります。1か月予報でも、今後は暑くなることが予想されます。籾数の過剰は収量・品質面で、ともにマイナス要因になりますので適正な茎数を確保する事が肝要です。

(2) 病害虫の防除

ア いもち病（葉いもち）

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、6月8～10日に県内各地で準好適条件が確認されました（表1）。

いもち病は気温25℃～28℃で湿度の高いといった条件で感染拡大が進みます。梅雨に入ると発生が多くなるので、ほ場を良く見回り、早期発見・早期防除に努めましょう。なお、いもち病の防除は、発生前の予防剤（粒剤）の施用が効果的です。また、いもち病の発生源となる置き苗は早急に処分するようにしましょう。

表1 BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果（令和8年度）

	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月2日	- 準感染好適条件1：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満								
6月3日	- 準感染好適条件2：湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上								
6月4日	- 準感染好適条件3：湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15～25℃の範囲外								
6月5日	- 準感染好適条件4：湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い								
6月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月8日	4	1	1	1	1	1	1	1	1
6月9日	4	1	-	-	-	-	-	-	-
6月10日	-	4	-	-	-	-	-	-	-

イ イネカメムシ対策

イネカメムシは、令和6年から県南地域を中心に発生が確認され、令和7年では県内全域に生息地が拡大しています。被害は、出穂期の吸汁による不稔に伴う減収、また、乳熟期の吸汁による斑点米の発生となります。

不稔の発生防止を目的とした出穂期防除が必須であり、通常の斑点米カメムシ類と防除体系が異なります（図3）。適期防除に努めましょう。



図3 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除体系

ウ 斑点米カメムシ

斑点米カメムシによる斑点米の防止には、乳熟期防除が有効です。

カスミカメなどの小型のカメムシは、卵で越冬し春先にふ化後は、畦畔のイネ科の雑草やイネ科の牧草などで成長し、水稻が出穂すると水田に飛び込みます。小型のカメムシは4月下旬にはふ化していますので、放置された牧草などが水田周辺に無いように地域で話し合いを行ってください。

クモヘリカメムシなどの大型のカメムシは、主に平地林などで成虫で越冬します。主に平地林などの林などで越冬しており、例年は6月下旬に越冬した成虫が産卵します。2025年の気温を基に今年のクモヘリカメムシの発生予測を行ったところ、5月下旬から6月上旬に産卵期を迎える予測となりました（表2）。羽化期も早まると予測されたことから、出穂の早いほ場では集中加害により被害が大きくなる可能性もあります。ほ場をよく観察して適期防除を行いましょう。また、斑点米カメムシ類は、イネ科雑草が誘因源となりますので、出穂させない管理が大切になります。畦畔の雑草に加え、水田内に発生しているノビエやホタルイなども、カメムシの発生源になりますので除草しておきましょう（図4）。

表2 クモヘリカメムシ（発生予測） JPP ネット有効積算温度計算シミュレーション結果

○今年度

	設定名称	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
1	越冬)産卵期	6/13	6/1	6/5	6/1	5/31	5/26	5/30	5/21	5/21
2	第1)孵化期	6/23	6/15	6/17	6/15	6/13	6/6	6/12	6/1	6/1
3	第1)羽化期	7/20	7/8	7/12	7/8	7/7	7/2	7/6	6/28	6/29
4	第1)産卵期	8/5	7/24	7/28	7/24	7/23	7/18	7/21	7/13	7/14

○平年

	設定名称	黒磯	大田原	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
1	越冬)産卵期	6/28	6/21	6/23	6/18	6/19	6/12	6/17	6/11	6/10
2	第1)孵化期	7/9	7/3	7/4	6/29	6/30	6/24	6/28	6/22	6/21
3	第1)羽化期	8/6	7/31	8/1	7/26	7/28	7/21	7/25	7/19	7/18
4	第1)産卵期	8/24	8/17	8/18	8/11	8/14	8/6	8/10	8/4	8/3

注 JPPネット有効積算気温度計算シミュレーション設定は以下のとおり。

設定期間：2026年1月1日～2026年12月31日

気象データ：毎正時データ

未来のデータ：過去の実測値：2025年、適用開始日：6月10日

気温補正：使用しない

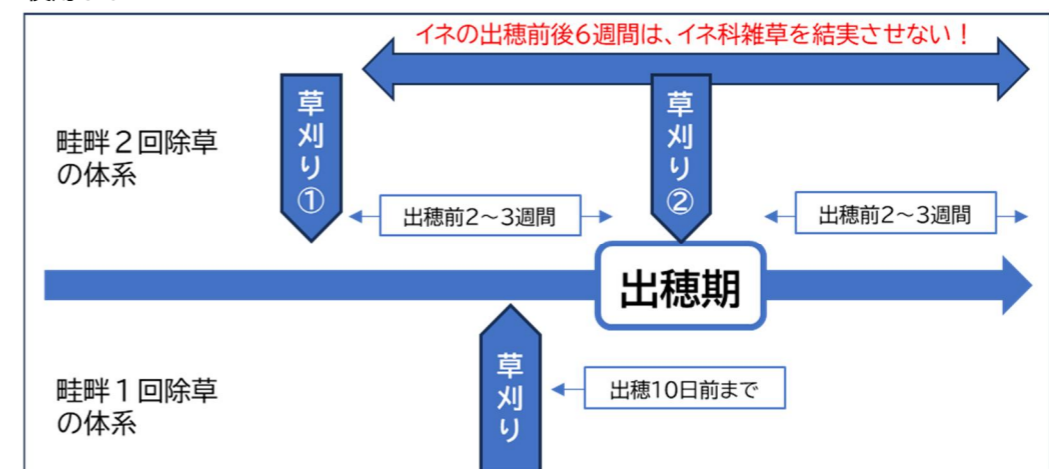


図4 斑点米カメムシ類防除における除草体系

【参考データ】

【コシヒカリ：本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈 (cm)			1株本数			茎数 (本/m)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)
1	那須町寺子丙	29.0	30.7	94%	10.6	11.8	90%	213	218	98%	6.2	6.8	-0.6	30.1	32.3	-2.3	3.9	3.7	0.2	826	808	102%
2	那須塩原市一区町	43.3	38.3	113%	30.5	24.6	124%	556	437	127%	8.8	8.7	0.1	38.1	38.0	0.1	4.4	4.3	0.1	2,435	1,893	129%
3	塩谷町玉生	36.3	31.5	115%	17.6	13.5	131%	339	237	143%	8.3	7.2	1.1	39.0	36.5	2.5	4.2	4.0	0.2	1,424	967	147%
4	那須烏山市南大和久	32.0	41.2	78%	18.2	23.8	77%	343	437	79%	7.8	8.5	-0.7	40.1	41.9	-1.9	4.4	4.3	0.1	1,514	1,879	81%
5	日光市木和田島	38.8	37.2	104%	21.5	23.2	93%	404	447	90%	9.1	8.1	1.0	42.0	40.3	1.7	4.3	4.0	0.3	1,747	1,771	99%
6	鹿沼市久野	35.1	33.1	106%	18.7	16.0	117%	299	255	117%	9.1	8.0	1.1	38.5	35.0	3.5	4.3	3.4	0.9	1,290	864	149%
7	宇都宮市川田町	37.9	36.2	105%	23.0	21.9	105%	425	387	110%	8.8	8.4	0.4	40.6	40.5	0.1	4.1	4.3	-0.2	1,742	1,656	105%
8	芳賀町東水沼	32.0	30.0	107%	17.9	14.0	128%	327	265	123%	8.5	8.1	0.4	41.2	39.6	1.6	4.4	4.1	0.3	1,439	1,099	131%
9	小山市生井	39.3			28.6			528			9.0			41.6			4.5			2,378		
10	農業総合研究センター	37.3	35.7	104%	20.2	21.8	93%	450	484	93%	8.3	8.1	0.2	35.3	39.8	-4.5	3.3	3.6	-0.3	1,488	1,770	84%
平均	全量基肥平均	36.2	34.1	106%	20.0	18.3	109%	377	341	110%	8.4	7.9	0.5	38.1	37.8	0.3	4.1	3.9	0.2	1549	1353	114%
分施	農業総合研究センター	39.0	37.6	104%	24.4	23.6	103%	541	525	103%	8.3	8.1	0.2	34.6	40.4	-5.8	3.3	3.6	-0.3	1,796	1,923	93%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

那須烏山市は令和7年にほ場が変更になったため前年値との比較。また、移植日が大幅に遅れたため平均から除す。

小山市は令和8年にほ場が変更になったため過去値との比較は行わない。また、全体平均からも除す。

【とちぎの星本田における生育調査結果】

No.	設置場所	草丈 (cm)			1株本数			茎数 (本/m)			葉齢			葉色(葉緑素計)			葉色(葉色板)			葉色×茎数		
		本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	比(%)	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	差	本年	平年	比(%)
11	さくら市狭間田	29.9	33.9	88%	11.9	12.1	98%	235	206	114%	7.8	7.1	0.7	43.4	41.0	2.4	4.8	4.3	0.5	1,130	880	128%
12	宇都宮市下桑島町	33.2	32.8	101%	17.9	15.0	120%	354	278	127%	8.8	8.0	0.8	45.4	42.4	3.0	4.7	4.2	0.5	1,664	1,176	142%
13	真岡市清水	33.0	31.2	106%	29.0	16.9	171%	536	343	156%	7.5	7.4	0.1	45.2	43.6	1.6	4.6	4.5	0.1	2,466	1,562	158%
14	農業総合研究センター	34.9	33.1	106%	20.6	22.6	91%	457	502	91%	8.0	7.8	0.2	38.3	42.2	-3.9	3.5	3.7	-0.2	1,603	1,882	85%
平均	早植平均	32.8	32.7	100%	19.8	16.7	119%	395	332	119%	8.0	7.6	0.5	43.1	42.3	0.8	4.4	4.2	0.2	1715	1375	125%

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

※葉色は葉色板の数値

宇都宮市は令和5年にほ場が変更になったため3カ年平均。

【R7移植後32日（6月8日）の葉面積と乾物重（農業総合研究センター）】

処理	葉面積 (m ² /m ²)			乾物重 (g/m ²)		
	本年	平年	比 (%)	本年	平年	比 (%)
コシヒカリ・0.5 (全基)	0.95	0.80	119	65.7	67.2	98
とちぎの星・0.6 (全基)	1.01	0.83	122	71.1	64.0	111

平年値について令和3～7年の5カ年平均。

コシヒカリについて、平年と比較して草丈がやや長く、茎数も多いことから、葉面積は平年より広がっています。対して乾物重はやや軽いことからやや軟弱に生育していると考えられます。

とちぎの星について、草丈が長く、茎数も多いことから、葉面積は平年より広く、乾物重は重くなっています。



農作業中の熱中症に注意しましょう

- こまめな休憩、水分、塩分補給を行いましょ
- 単独作業は避け、一人作業の場合は携帯電話を持ちましょ
- 体調不良を感じたら、すぐに作業を中断し、涼しいところで休みましょ